



安心・安全な生活のために2

【避難訓練（地震・火災想定）】

4月22日（火）に避難訓練を行いました。地震が起きた時には、まずは頭を守ることが大事です。子どもたちは、緊急地震速報の音を聞いて机の下に身を隠して、ダンゴムシのポーズをとりました。その後、放送を聞いて避難経路と避難場所を確認しました。今回は、地震が起きた後に家庭科室から火災が発生したという想定でしたので、どこから火が上がっているのかを知ることは必要です。さらに、避難の際には、黙って行動しなければなりません。指示が聞こえなかったり、間違った情報（デマ）に触れてしまったりするからです。全員が無事体育館に集合し、避難訓練を終えました。

しかし、実際に地震や火災が起きた時に、訓練と同じような行動をとることができるでしょうか。大きな揺れを感じた時にはパニックになって正しく動けなくなるかもしれません。大きな炎を見て、恐怖を感じることもあるでしょう。いつも授業中に地震が起きるわけではありませんし、周りに人がいない場合もあるかもしれません。いろいろなことを想定しながら、訓練に臨むことができるようにしていきたいと思います。より現実的な訓練を検討していきます。

【歩き方教室】

4月23日（木）に1年生を対象に歩き方教室が開かれました。「歩き方教室」は、市内公立小学校で行われています。松山市役所、交通安全協会、潮見地区交通指導員の方が、交通ルールについて話をしたり、街中での安全な歩き方を伝えたりしました。子どもたちは、横断歩道や交差点での車両の確認の仕方や歩き方を、模擬コースで確認しました。

3月末の報道では、小学生から高校生までの交通事故は、年度始めの4月から6月にかけて増加する傾向にあるそうです。慣れた頃が一番危ないようです。自転車での重大事故も6月が多いので、やはり春から初夏にかけて交通事故に十分気を付けなければならないようです。

今回学習したことは、登下校だけでなく、校外生活において身に付けておきたい交通マナー、交通ルールです。1年生だけでなく、どの学年であってもルールを守ることが、自分の命を守ることにつながります。ご家庭でも改めて交通ルールについて話し合ってくださいと思います。

